

紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

令和8年2月

同窓会長挨拶

紫友同窓会 会長 鶴田 勉
(昭和49年卒)



紫友同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また同窓会の運営・活動にかねてよりご支援・ご協力いただき心より感謝申し上げます。

今年度の紫友同窓会総会・共同獣医学部施設案内・懇親会は多くの同窓生の参加をいただき、すべての行事が大学で開催されました。ありがとうございました。次年度より

学生会員にも参加案内をする案が出されました。鹿児島大学と同窓会連合会の共催で、卒業生が母校鹿児島大学に集い母校の近況に触れ恩師・旧友との交流や親睦を深める場としてのホームカミングデー2025では、同窓会連合会の代表幹事を務め、盛況の内に終了しました。

12月には共同獣医学部の欧米水準の獣医学教育に係るEAEVE（欧州獣医学教育機関協会）認証の再取得に向けての公式審査があり、同協会の評価専門員とのヒアリング等に参加しました。

紫友同窓会は、これまで同様会員相互の親睦及び日本一を目指して頑張っている母校発展のため寄与していく所存ですので、これまで同様のご支援・ご協力をよろしく願います。

共同獣医学部近況報告

共同獣医学部・学部長 遠藤 泰之



鹿児島大学共同獣医学部は、令和7年4月に早いもので14年目を迎えました。昨年度より共同獣医学部長を拝命いたしました。2年目の任期もあっという間に経過した感じがします。紫友同窓会の皆様には学部における獣医学教育に関し、ご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

過去にもこの場をお借りして述べさせていただきましたが、共同獣医学部における獣医学教育に関し、2019年に国内の第三者評価機関である大学基準協会、ならび国際的な評価機関である欧州獣医学教育機関協会（European Association of Establishments for Veterinary Education: EAEVE）という2つの大きな獣医学教育認証評価を受審し、いずれも認証を取得いたしました。こちらについても瞬く間に時が過ぎ、2025年は再評価を受審する年となりました。前者については年度途中ですすでに評価を済ませており審査結果を待っている状況ですが、EAEVEの再認証評価はここでご挨拶を述べさせて頂いているまさにこの時に、公式訪問審査に向けた最終準備に力を注いでいるところでございます。こちらについても同窓会の皆様から非常に大きなご助力を賜っておりますが、審査後には前回同様、完全認証という形でご報告できますこ

とを願っているところです。

令和6年度より、学部附属施設として曾於市に整備された南九州畜産獣医学教育研究センター（SKLVセンター）も本格稼働に移行し、獣医学ならびに畜産学を学ぶ実習生の受け入れも盛んになってきており、また動物衛生学や産業動物臨床獣医学分野における卒後教育やリカレント教育を通じて地域へも大きく貢献しています。さらに本施設は一般の方々にも開放されており、乗馬体験やカフェの利用などできますので、同窓会の皆様におかれましても、お時間が許すようであればこちらをご利用いただければと思います。

また令和6年度に新設された畜産学科も、令和8年度には3年目を迎えます。この学科は、畜産県である鹿児島の特徴を全面に打ち立て、畜産学と獣医学の素養を学ぶことのできるハイブリッド教育を特色としております。カリキュラム的にも3年次の学生さんは、卒業後の進路に直結するような科目を選択する必要がありますが、畜産技術者はもちろんのこと、食肉加工や獣医療等といった多彩な分野に将来的に携わる可能性があるということで、こちらの学年進行も非常に楽しみにしているところです。

獣医学と畜産学を柱とする動物科学を実践する拠点としての鹿児島大学共同獣医学部が、九州最南端の地で大きく発展しつつあります。我が国のみならず国際的にも通用する人材を輩出できるよう今後も取り組んで行きたいと思っておりますので、引き続き紫友同窓会の皆様には、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

50周年記念同窓会報告

卒後50周年記念同窓会を開催

昭和50年(1975)獣医学科卒業生

今年、令和7年5月24日(土)18:00～鹿児島中央駅前のホテルタイセイアネックスにおいて、恩師の西中川駿名誉教授および紫友同窓会の鶴田勉会長(1年先輩)のお二人をお招きし、昭和50年(1975)獣医学科卒業生同窓会を開催致しました。前回は平成29年6月に開催しており、8年ぶりでしたが、今回は、奇しくも卒後50年の節目にあたる記念すべき開催でした。遠くは、東京、長野からの参加もあり、14人の同窓生が集まりました。当日は朝から午後2時頃までは九州南部が集中豪雨に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、幸い午後3時過ぎから雨は止み、開催前の“母校キャンパス・ミニツアー”(5人の参加)も支障なく実施できました。物故者2名に対する黙祷の後、参加者全員が、

各自の現在の生活状況を仕事や趣味、あるいは健康状態などを含めて、面白くおかしく紹介してもらいました。二次会は近くの居酒屋に場所を移して、話は尽きなかったのですが、10時半過ぎに閉会となりました。互いの健康を気遣いながら、次回同窓会での再会を願いながら、50周年記念同窓会は無事終了しました。(記 高瀬公三)



同窓生からのご寄稿

鹿児島大学共同獣医学部と鹿児島市平川動物公園

桜井 普子(平成6年学部卒)

卒業して鹿児島市平川動物公園の獣医師となり30年が経ちました。大学で学んだ沢山のことや、お世話になった先生・先輩など沢山の方々が、幾度となく私を助け、支えて下さいました。そんな私の勤務先である動物公園について説明させていただきます。

前身は1916年(大正5年)に造られた日本で4番目に古い鴨池動物園で1928年に鹿児島市に買収されました。1951年に鹿児島大学水産学部のタイ人留学生よりインドゾウの寄贈を受けるなど鹿児島大学との繋がりは大きかったようです。1972年に現在の場所に移転し、平川動物公園となりました。ゲートを入ってすぐ眼前に広がる、桜島をキリマンジャロに見立てたアフリカ園の雄大な光景は当園の誇りです。

10年余りの市民の誘致活動により1984年にコアラが来園しました。当時は全く未知な動物の飼育を開始するという事で、体調を崩したコアラの往診依頼が大学に来たことがあったようです。学生時代に教授や先輩方が、「コアラは毛が密に生えているので採血するのに苦労した」と話され

ているのを聞いたことがあります。当時、コアラは大変臆病でストレスに弱いので、飼育舎内では静かに動かねばならず、咳払いすら禁止という扱いだったそうです。けれど、そういう接し方をしているとコアラはますます神経質になってしまいました。野生動物の習性として、音もなく近寄ってくる相手は自分に忍び寄って襲おうとしていると感じられて当たり前です。そのことに気づいた飼育担当者が、入室時には穏やかな声であいさつし、近寄る時は声をかけつつ軽く触れるように心がけることで、コアラ達の態度も穏やかなりリラックスしたものに変わっていったそうです。そのような努力の甲斐もあり、今ではコアラ飼育数日本一となり、2021年にリニューアルオープンしたコアラ館ではコアラ達のいる空間を通り抜けるウォークスルー方式が採用され、コアラの鳴き声を聞いたり、ユーカリの香りを感じたりすることができ、大変ご好評頂いています。この施設を開設する際に、コアラが環境変化により受けるストレスを評価するために、移動前後の血中オキシトシン濃度の変化を測定して頂いたのも共同獣医学部でした。その研究では、移動後意外と早く回復したという結果が得られました。

このようにコアラなど様々な動物の治療や研究に関して



雄大なアフリカ園の光景



コアラ館ウォークスルーエリア

大学や研究機関と協力することも多い中、2017年に共同獣医学部と当園とで「それぞれの資源や機能を活用した連携を図りながら、獣医学教育・研究の高度化と次世代の獣医師養成の発展を目指し、もって社会の発展に寄与すること」を目的として「動物公園飼育動物に関連した獣医学教育・研究に係る相互連携に関する協定」が締結されました。

現在では、その協定に基づき、共同研究や試料提供、治



間近に観察できるコアラ

療やCTやMRIを含む検査に関する相談などをさせて頂いている他、学生の実習受け入れ、獣医キャリア形成論への講師派遣など様々な事業が行われています。動物公園にとって、また、飼育展示されている動物達にとって、地元鹿児島にこのような獣医学部が存在しているということは大変心強いことです。今後もこの連携をますます発展させていきたいと願っております。



獣医実習の様子(大和教授提供)

同窓会活動便り

令和7年度 共同獣医学部新入生が入学しました。

日時：令和7年4月3日(木) 9:00~

場所：農・獣医共通棟 204 講義室

入学式に先立って、共同獣医学部では、令和7年度新入生62名(共同獣医学科32名、畜産学科30名)を迎え、オリエンテーションが開催されました。新入生の男女比は1:3(共同獣医学科は1:2、畜産学科は1:5)と今年も女子学生が優勢で、出身地は全国に広がっています。紫友同窓会を代表して鶴田勉会長が出席され、入学生に対してお祝いのメッセージを贈りました。新入生の皆さんには、紫友同窓会によるこれまでの「母校(学部)」へ様々な支援活動を理解いただき、同窓会への加入をお願いし、60名に入会していただきました。



令和7年度 共同獣医学部紫友同窓会総会が行われました。

日時：令和7年7月19日(土) 15:00~

場所：農・獣医共通棟 101 講義室

鶴田会長のご挨拶の後、松元副会長が議長氏名を受け、新役員(案)、令和6年度事業報告(案)、令和6年度決算(案)、令和7年度事業計画(案)、令和7年度予算(案)、総会の定期開催について諮り、承認されました。また遠藤学部長から学部の現況報告、および松元



副会長から同窓会連合会報告がありました。総会終了後に学部の施設見学が行なわれ、17:00から学内レストランのベジマルシェにて懇親会が開催されました。

令和7年度 紫友同窓会事業計画書

会員相互の親睦と専門技術の向上を図り、併せて母校の発展に寄与するために以下の事業を行う。

1. 同窓会の健全な運営を図るため、会員の消息確認、並びに同窓会費の納入率向上に努める。
 - 1) 会員数(令和7年4月1日現在)
卒業生 2,633名 + 修了生 10名 = 2,643名
逝去者 692名 + 消息不明 383名 = 1,075名
連絡可能会員 1,558名、会費免除会員 387名(新規会費免除：昭和40年卒業生)
(別途、在学生：獣医学科188名、畜産学科61名)
 - 2) 会費納入の案内：令和8年1月 会費払込用紙の発送を予定。
納入予定者数 500名(42.6%) 対象会員1,171名
2. 同窓会の運営を円滑にするため、評議員会、事務局会議の開催。
事務局会議 令和7年5月14日(水) 17時00分 学内
総会 令和7年7月19日(土)

3. 会員相互の情報交換の場として、会報を年1回発行する。
4. 紫友同窓会名簿発刊。
5. 卒業生間の親睦を図るために節目（卒業後10, 20, 30, 40, 50, 60年）のクラス会等への補助を行う。
6. 新卒業生へのベストクラスメート賞の贈呈および卒業記念祝賀会の共催を行う。
7. 在学生と同窓会とのコミュニケーションを図るため、講演会や交流会を開催し、同窓会への加入を促進する。
8. 母校への教育支援を図るために学術基金納入の更なる促進に努めると共に、大学、学部との連携を密にして情報の共有に努める。実習に発生する旅費の一部を補助する。
9. 鹿児島大学同窓会連合会に参加し、事業協力を行う。
10. その他

次年度から、総会を定例開催し、学生会員も参加することが承認された。
 次年度の総会は、令和8年7月19日（日）に開催されます。

令和7年度 共同獣医学部卒業論文発表会が行われました。

日時：令和7年11月26日（水）10：35～

場所：農・獣医共通棟 101 講義室（写真下）

例年12月第1水曜日に実施される獣医学科の卒論発表会が、今年度は欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の現地視察の日程の影響を受けて、今年度は11月最終水曜日に開催されました。遠藤学部長のご挨拶の後、卒業論文29演題が発表され、審査を受けました。この後、第77回獣医師国家試験（2026年2月17、18日実施）の対策に気を緩めることなく、取り組みます。



欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）による認証継続のための現地視察が行われました。

日時：令和7年12月1日（月）～5日（金）

本学共同獣医学部では、欧州からの来訪者にとって気候が良く（鹿児島の暑い夏を避け）、学生の授業が視察できる今年度の後期科目開講の時期に合わせて、下記のEAEVE評価専門員（評価チーム：来訪者7名）による訪問審査を受けました。

2019年6月、山口大学共同獣医学部と共に受けたEAEVEによる獣医学教育評価の認証期間は7年間となっており、期限となる2026年6月までに認証継続のための再審査を受ける必要がありました。

EAEVE評価専門員との公式夕食会（学長、学部長、リエゾンオフィサー、学部施設長、改革室メンバー、事務代表、学生代表、サポートスタッフ代表、卒業生代表、諮問会議代表、通訳他が参加）の開催（12月4日）にあたり、紫友同窓会の学術基金より奨学寄附金（EAEVE審査補助費として50万円）を援助していただきました。また日頃からお世話になる鹿児島県内の自治体、農業共済組合、開業動物病院等に勤務される本学卒業生獣医師の皆様にも、実習現場の視察や審査員によるインタビューにご対応いただきました。この度のEAEVE認証評価受審にあたり、紫友同窓会会員の皆様よりいただきました厚いご支援に対しまして、深く感謝申し上げます。

最終日に行われた評価専門員による講評プレゼンテーションでは、本学共同獣医学部の教育研究に対して1つの軽微な欠陥が指摘されました。正式な評価結果は、2026年5月26日開催の欧州獣医学教育委員会、及びその後のEAEVE総会によって承認を受けることになります。



紫友同窓会事務局 ○：責任者（電話099-）

事務局長（総務）	○三角 一浩 (61) 285-8731
庶務（企画・事務局担当）	○帆保 誠二 (62) 285-3538
（渉外）	蔵元 智英 (27) 285-3527
	○畠添 孝 (08) 285-8984
	安藤 貴朗 (13) 285-8737
	山下 紀幸 (21) 0986-72-2090
（書記・総会・評議員会等担当）	○三浦 直樹 (09) 285-3527（兼Fax）
	高橋 雅 (16) 285-3566
	奥谷 公亮 (29) 285-8708
（慶弔関係）	○小尾 岳士 (02) 285-8725（兼Fax）
	矢吹 映 (09) 285-3561
会計（総括）	○矢吹 映 (09) 285-3561
	一三三連郎 (22) 285-8668
会報編集（総括）	○藤木 誠 (07) 285-8732
	小尾 岳士 (02) 285-8725（兼Fax）
	古澤 悠 (24) 285-8750
	野口 亜季 (25) 285-8750

編集後記

昨年度から事務局を担当しています外科学の三角です。ホームページの更新も継続していきますので、掲載して欲しい情報がありましたら、以下までご連絡ください。

連絡先

鹿児島大学共同獣医学部紫友同窓会事務局
 TEL：099-285-8731（臨床獣医学講座外科学分野）
 E-mail：shiyu_dousoukai@vet.kagoshima-u.ac.jp
 紫友同窓会HP：

<https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/graduate/class/>

